

# 登熟期仕上げの水管理

## 落水時期の見極めが品質・食味に影響

落水は穂かがみ期  
(出穂後25日が目安)

落水が早いと腹白・乳白粒が  
増加し収量が低下する



水田表面に大きな亀裂が  
入らないよう適宜入水する



腹白粒

- ・ 落水時期は、登熟の遅れた穂に合わせます。
- ・ 落水が早すぎて干ばつ気味になると、**腹白・乳白粒の増加、細粒化して収量・食味が低下**します。
- ・ 落水した後も土壌水分を維持しましょう。
- ・ 必要に応じて走り水管理を行いましょう。

◆ 登熟初中期に、昼夜とも高温条件が続くようなときの技術対策 ◆

**かんがい水の掛け流しを行い  
稲体周辺の気温を下げ、  
玄米品質の低下を防ぎましょう**